

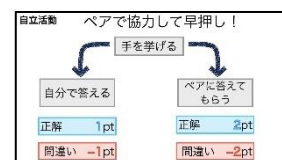
1人1台端末の活用による実践事例

学校名	県立岡山聾学校	実践者名	道本 裕大
実践場面 (教科)	中学部2年「自立活動」		
単元・題材名	夏に関係する言葉や知識		
学習目標・ねらい	・ 夏に関係する言葉や知識を増やす。 ・ 色々な言葉を扱うことで、言葉への興味や関心を持つことができる。		
対象の児童生徒の 実態	・ 経験の少なさや聴覚からの情報が入りにくいことにより、語彙や一般的な知識が少なく、身についていないことがある。 ・ 授業に集中して取り組めない生徒がいる。 ・ タブレットの使い方に慣れており、GoogleForms の送信ができる。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			

使用アプリ名「Keynote」「GoogleForms」「Classroom」

【授業準備】

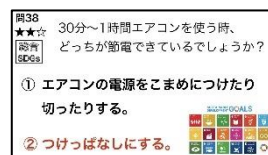
- 4月～7月にかけて、様々な授業や朝の会、帰りの会で扱った、夏に関係する言葉を集める。
また、各教科の教員に、どんな勉強をしているか聞き取りをし、夏に関係する言葉をピックアップする。
- 集めた言葉に関するクイズをKeynoteで作成する。
(選択問題、記述問題など)



【授業】

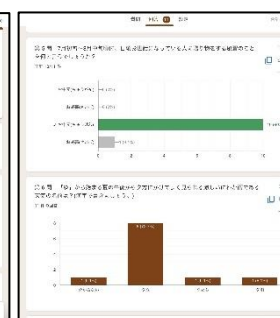
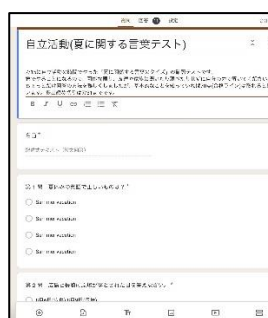
Keynote を使って授業を進める。

- 生徒2人でグループを作り、早押し形式で選択問題に答えたり相談しながら記述問題に回答したりする。
- T2の教員と連携して、誤答の多かった問題を中心に覚えてほしい言葉をいくつか決める。



【授業後】

- GoogleForms で選択問題や記述問題を作成する。
- Classroom で学年のクラスを作成し、GoogleForms の URL を投稿する。
- 生徒は宿題として取り組み、その結果を集計する。



活用のポイント・改善策等

- タブレットを活用することで、生徒全員が集中して学習に楽しく取り組むことができる。
- 学級内での日常生活、授業（自立活動の指導の時間）、家庭学習を関連づけることで、生徒の語彙や一般的な知識の習得を図るとともに、タブレットの活用を通じて、個別の習得状況を把握することができる。
- また、GoogleForms での小テストに複数回回答できるように設定しておくことで、満点を目指すなど生徒の意欲を喚起し、主体的に取り組むことができた。（クイズに出てきた言葉を見たり経験したりすると、教師に報告する生徒も見られた）。
- 長期休業中にも、何度も復習ができる。
- クイズ形式で取り上げる内容については、生徒の実態に合わせた語彙や知識を扱うことが重要である。